

2026 年 10 月 26 日

能美防災株式会社

能美防災(株)妻沼東事業所敷地内における PFOS 及び PFOA の

検出に伴う対応について（第 7 報）

【今回の報告事項】

本報では、本日 10 月 26 日に熊谷市が公表した周辺井戸の水質調査結果と、弊社が実施した流出防止対策及びその後の水質調査結果について、これまでの経緯と併せてお知らせいたします。

本日 10 月 26 日、熊谷市は、「能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について（第 6 回公表分）」を公表しました。同市の公表によると、調査対象の 19 井戸のうち 3 井戸で国の指針値※1 の超過が確認されました。なお、当該調査の対象となった井戸のうち、飲用に使用されている井戸はありませんでした。

事業所最終放流口について、弊社が 9 月 25 日に実施した水質調査では、濃度の低減が確認されました。これに至る対策及び調査の経緯は以下のとおりです。弊社は、事業所敷地内の排水経路における濃度調査で PFAS 濃度の高い箇所を確認したことから、8 月 6 日に当該箇所に局所的な PFAS 処理装置を導入しました。その後、事業所最終放流口での PFAS 濃度は上昇傾向にあり、9 月 10 日の調査では、測定開始以来、最も高い濃度が確認されました。弊社は、さらなる流出防止対策として、かねてより計画していた事業所敷地内の排水経路の高圧洗浄を 9 月 14 日に実施し、PFAS を含む堆積物を除去しました。

【これまでの経緯】

能美防災株式会社（本社：東京都千代田区九段南 4－7－3 代表取締役社長 長谷川雅弘）は、弊社 妻沼東事業所（埼玉県熊谷市妻沼 5058 番地）敷地内において実施した地下水調査の結果、敷地内の地下水及び排水から、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）が環境省の指針値（PFOS 及び PFOA の合算値：50ng/L 以下）を超過する濃度で確認されたため、熊谷市に報告しました。

2026 年 4 月 22 日、熊谷市は、当事業所周辺の住民の皆さまへの周知及び飲用指導ならびに周辺井戸の水質調査を実施する旨を公表しました。その後、同市は 5 月 27 日及び 6 月 29 日に調査結果を公表し、6 月 29 日の第 3 回公表分では、調査した 8 井戸のうち 7 井戸で国の指針値※1 の超過が確認されました。なお、当該 8 井戸のうち、飲用井戸は確認されませんでした。

8月5日、熊谷市より、「能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について（第4回公表分）」が資料開示され、調査を実施した26井戸のうち12井戸で国の指針値※1の超過が確認されました。このうち飲用井戸2井戸でも超過が確認されました。

9月17日、熊谷市より、「能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について（第5回公表分）」が資料開示され、調査を実施した19井戸のうち3井戸で国の指針値※1の超過が確認されました。なお、当該調査の対象となった飲用井戸1井戸では、指針値の超過は確認されませんでした。

※1 国の指針値

- ・PFOS及びPFOAの合算値50 ng/L以下（ng（ナノグラム）は10億分の1グラムを表す単位）
- ・指針値は、体重50kgの人が水を一生にわたって毎日2L飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと推定されるレベル

【今後の対応について】

熊谷市は、引き続き周辺各地区における井戸の利用状況調査及び水質調査を実施する予定です。

今後も、事業所最終放流口及び公共用水域である道閑堀排水路への接続地点において、定期的な水質モニタリングを継続し、状況の変化を注視してまいります。

近隣住民の皆さまをはじめ関係各位には、ご心配をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。弊社は、埼玉県及び熊谷市等の関係機関と協議のうえ、適切な対応を検討するとともに、今後の対応状況についても、適宜、弊社ホームページ等で速やかにお知らせいたします。お問い合わせについては、以下の窓口までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

能美防災株式会社 広報室

メール：mfe-info@nohmi.co.jp